

Webで情報発信をするすべての担当者のための 校正・校閲力養成講座 【Webサイト・SNS専門コース】

【東京会場(南青山)開催&オンライン開催】
2023年11月15日(水) 1日集中

Web校正・校閲

画像・データの著作権

差別・不快表現
など…

スピード感を求められて掲載したものの
公開後の訂正が多く
二度手間になってしまう…

SNSでの炎上や誤情報の拡散が心配で
ヒヤヒヤしながら投稿している…

Webならではのスピードに追われて
リスクの管理や体制が
おざなりになってませんか？

Webは予算がつかないので
校正・校閲を外注する余裕がない…

これまで外部に任せていたので、
運用ルールやリスク管理など、
基本的な体制が整っていない

著作権や薬事法など
法律関係の知識がなく心配。
他社はどういう体制で
チェックしているのだろうか…

レンタルフォトを使い続けていたら
「勝手に使っている」と
警告が来てしまった…

選べる受講形態！

東京会場(南青山)
or
オンライン(ZOOM)

自社のWebサイト・SNSで起こりうる
リスクを想定しブランドを守るための
基礎知識と体制を学ぶ

画像提供:123RF

Marketing & Creativity
宣伝会議



コーポレートサイトやSNSは会社の顔。 小さな見落としが命取りになることも…

Web上の情報量は増加する一方。 「初心者だから」では済まされない。

Web上での情報収集や顧客とのやりとりが当たり前になっている今、Web上に掲載した文章の重要性は高まっています。企業の顔となるコーポレートサイトやSNSに加えて、メディア向けのリリースや社内報も紙媒体からWebに移行し、Web上のルールを理解していない初心者が担当に抜擢されることもしばしばあります。情報が波及しやすいWebサイトには、誤った情報掲載で関係先に迷惑をかけたり、思わぬことがネット炎上につながったりとさまざまなリスクが潜んでいます。

明日から使える校正・校閲、 倫理、著作権問題などの基礎知識を学ぶ。

迅速さや柔軟さの求められるWebでは、掲載される文章に校正・校閲や編集のプロが目を通すのではなく、社内でのチェックに頼ることが多いものです。しかし、「2人以上の目を通したから大丈夫」「他部署からもらった資料だから責任を負う必要はない」などと、網渡り状態のリスクマネジメントをしていると、突然信用を失う事態に陥る可能性もあります。基礎知識のインプットと社内のリスクマネジメント体制の構築によって、ブランドを守る方法を学びます。

講座の ポイント

Webサイト、SNSに潜むあらゆるリスクの管理方法を学びます

POINT 1

Web文書ならではの 校正・校閲

Webに掲載した文章は、どこで誰が閲覧するか分かりません。誤字脱字や表記の不揃いに加え、PCの操作上のミスなども思わぬところでの問題発生につながります。Webならではの校正・校閲方法やマニュアル作成のノウハウを身に付けることで、リスクに備えます。

POINT 2

著作権、肖像権、薬事法など Webにまつわる法律

Webページを作る際には他ページや紙媒体からの文章や情報の引用、写真や画像の使用・転載も当たり前。社会的、金銭的ダメージを受けないために、著作権・肖像権、薬事法など、Webにまつわる法律を学びます。

POINT 3

リスクを管理するための Web編集体制

WebサイトやSNSの担当者には、「編集者」という肩書を持つ人はほとんどいません。しかし、Webであっても責任の所在やスケジュール管理など編集体制を整えることは重要です。リスクを防ぎ信頼を構築するための管理体制を学びます。

このような方におすすめの講座です

【コーポレートサイト担当の方】

編集経験はなく、文章は苦手だが、自社の顔になるサイトなので信頼できる情報を掲載したい。



【広報担当の方】

コーポレートサイトでメディア向けのリリースを出しているが、毎日他部署から集まってくる文章をチェックする作業に追われ、ミスしないか不安。



【Webライター・制作会社の方】

Web文章は、SEO的にも速く大量に作ることが求められるため、効率的にチェックできる方法を知りたい。



【SNS担当の方】

投稿前はもちろん、投稿後であったとしても、すぐにリスクに「気付ける」知識を身に付けたい。



Web用の文章を作成・編集するうえで必要不可欠な校正・校閲のスキルとリスクを避けるために身に付けておきたいスキルや法律の知識を学びます。

STEP1 Web校正・校閲

Webはリスクの大海。その校正・校閲で本当に大丈夫ですか？

【表記統一マニュアルの一例】

読み	原稿	統一した表記	備考
あるいは	或いは	あるいは	
うかがえる	窺える	うかがえる	
おこなう	行う	行う	
こでいねーた	コーディネーター	コーディネーター	
子どもたち	子供達	子どもたち	
さらに	更に	さらに	
しょうちゅうがくせい	小・中学生	小中学生	生徒は・を入れない
しょうちゅうがっこう	小・中学校、小・中・高等学校	小・中学校、小・中・高等学校	学校は・をいれる
すべて	全て	すべて	
つける	身に付ける、位置付ける	身に付ける、位置づける	
とりくみ	取組み	取り組み	
ない	無い	ない	
ならびに	並びに	ならびに	
ほとんど	殆ど	ほとんど	
わがくに	我が国	わが国	
わかる	分かる、判る、解る、わかる	分かる	
わたる	～に渡る、～に亘る	～にわたる	
われわれ	われわれ	我々	

©ぶれす

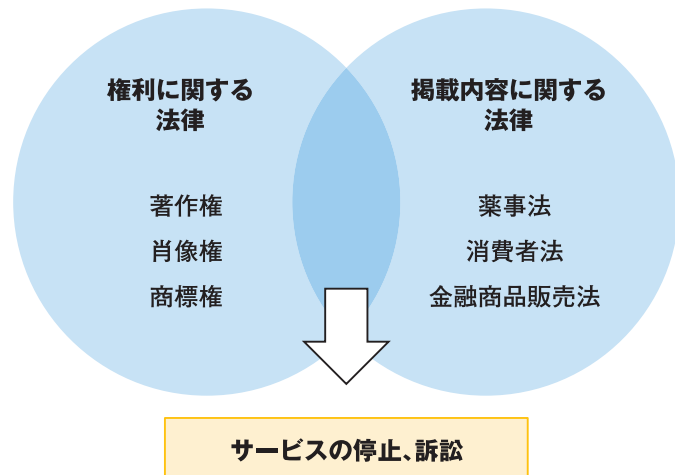
WebサイトやSNSに掲載する文章の校正・校閲は、信用の構築やコスト削減などにつながる大切な作業です。まずは企画から校了までのWeb校正校閲の流れを把握し、実際に原稿などをチェックする際の具体的な作業内容も学びます。

また、Web校正・校閲で役立つ表記統一マニュアルや文章の執筆要綱の作成方法、パソコン上での校正・校閲方法も身に付けます。さらに、ネット上だからこそ避けるべき差別用語・不快用語や気を付けたい話題についても紹介します。

STEP2 Webにまつわる法律

「知らなかった」では済まされません。

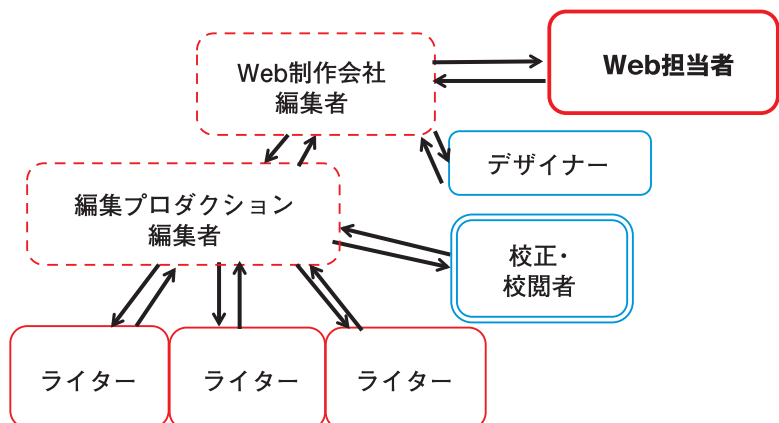
WebサイトやSNSに掲載する文中には、新聞記事や書籍などからの情報の引用があったり、Webサイトのリンクの貼り付けやSNSとの連携があったりと、自社サイトで完結しないことがほとんどです。また、イベント写真やイメージ画像、動画などの著作物を使用することも多々あります。知らぬ間に法に抵触し、「修正」「お詫び掲載」だけにとどまらず、金銭問題や訴訟に発展するケースもあります。本講座では、著作権、肖像権など「権利に関する法律」と薬事法、消費者法など「掲載内容に関する法律」などのWebにまつわる法律を、Web担当者が知っておくべきポイントに絞って分かりやすく解説。医療系メディアの実例なども交えながらリスクマネジメント方法を学びます。



STEP3 編集体制

事例をもとに自社のリスクマネジメントを見直す。

WebページやSNSの制作・運営は文章の初心者が担当したり、校正・校閲体制が整っていないなかったりと、「編集部」のあるメディアとは環境が異なります。本講座では、少ない人数や予算でWebに掲載する文章のリスクを管理するための方法を、事例をもとに学び、自社でも実践できるようイメージすることが重要です。責任の所在など社内体制からスケジュールの組み方、編集者、書き手、校正・校閲者が複数人いる場合や一人で担う場合のディレクション方法などを、事例をもとに学びます。



カリキュラム

時間	テーマ	講義内容	講師
10:30 ～ 12:00	Web文書の校正・校閲	Web校正・校閲はなぜ大事なのか／校正・校閲の流れ／校正作業の実際／Wordを使った校正・校閲／校正・校閲のための道具／マニュアルの作り方／差別・不快表現	田中 典子氏 田中講師は当日、オンライン講義を予定しております。教室でのご受講を希望される方は、パブリックビューイング形式での講義となります。予めご了承ください。
13:00 ～ 15:00	Web文書にまつわる法律	Webページ、SNSにおける法律の重要性／権利に関する法律（著作権、肖像権）／掲載内容に関する法律（薬事法、消費者法）／企業実例	倉崎 伸一朗氏
15:20 ～ 17:20	編集体制(実践編)	Webメディアでのリスクマネジメント実例／編集者不在のWebでリスクマネジメントをする体制やフロー	木下 彰二氏

※日時・カリキュラム・講師は都合により変更となる可能性がございます。

講師プロフィール

紙媒体からWeb媒体まで
さまざまなクライアントに柔軟に対応する
校正・校閲のプロフェッショナル



田中 典子氏
株式会社ぶれす
デジタル事業部 次長

大学卒業後、日本エディタースクール編集者養成総合科修了。編集プロダクションの編集企画部、商社の海外事業部勤務などを経て、フリーランスライター・翻訳者・校正者として活動。2016年に株式会社ぶれす入社。校正・編集職を経て、18年より同社のデジタルメディア制作・校正を担当。外国政府機関の公式ウェブマガジンや各社オンメディアなどのコンテンツ制作を手掛けるほか、デジタル校正部門を統括する。

著作権、肖像権など
Webにまつわる法律の相談を
多数受ける専門家



倉崎 伸一朗氏
シティライツ法律事務所
弁護士

民間企業勤務を経て、弁護士登録。都内法律事務所にて中小企業向けのリーガルサービス提供を経験した後、現在シティライツ法律事務所所属。企業法務の中でも著作権に関係する相談への対応、新規事業の進め方・サービス設計に関する法務、エンターテインメントに関する法務をメインに活動。

校正者、編集者の両者の視点から
実務に即した体制作り・
リスクマネジメントを講義



木下 彰二氏
有限会社共同制作社
代表取締役社長

出版社や編集プロダクションの勤務を経て、1995年にフリー校正者として共同制作社に登録。1998年に編集者として入社後、校正部を経て2012年より現職。校正者・編集者・制作ディレクターのそれぞれの立場から、単行本をはじめ、雑誌、PR誌、カタログ、チラシ、広告などに携わる。現在、校正・校閲に関する執筆や解説をはじめ、セミナー・企業研修などの講師として 東京、名古屋、京都、大阪、福岡などで活動中。校正ミスをリスクマネジメント、ヒューマンエラー、ヒューマンファクターという観点から分析し、対策の提案をしている。

講座概要

- 開催日程: 2023年11月15日(水)
- 講義時間: 10:30～17:20
- 受講定員: 30名※東京会場(南青山)
- 講義形式: 東京会場(南青山)開催&オンライン開催※ZOOMを活用予定
- 受講対象: WebサイトやSNSの作成・編集に携わる方
- 受講料金: 54,000円(税込 54,900円)※申込金5,000円(税込 5,500円)を含みます

お申込みはWebから またはこちらまで
FAXにてお送りください

▶ 03-3475-3033



- 〇「宣伝会議」年間購読なし 54,000円(税込 54,900円)※申込金5,000円(税込 5,500円)を含みます▶本講座受講料のみ
- 〇「宣伝会議」年間購読パック 67,091円(税込 73,800円)※申込金5,000円(税込 5,500円)を含みます▶本講座受講料+「宣伝会議」年間購読受講生割引(20%オフ)

※「宣伝会議」はお申込みいただいた日の翌月1日から下記ご住所まで配送いたします。(月末お申込の場合、数日遅れる可能性があります)

Webサイト・SNS専門コース お申込者情報記載欄	会社情報	会社名	TEL		
		〒			
		住所			
	申込者様	氏名	所属部署	役職	生年月日
		Eメール			
	派遣責任者様	氏名	所属部署	役職	生年月日
	Eメール				
申込形態		①企業申込 (請求書を発行します)		②個人申込	宣伝会議からの情報 ①いる ②いない ③すでに届いている

お振込み先 三菱 UFJ 銀行 青山支店 普通 1145602 口座名義: 株式会社宣伝会議

※受講は受講者本人に限ります。他人に貸与・譲渡することはできません。尚、同一の講座を別々の方に受講いただくことは禁止してあります。※お申込み後のキャンセルは原則承っておりません。※万一、受講前に受講予定の方の参加ができなくなってしまう場合は、事務局までお問合せください。同一講座の受講中において、参加者の受講途中に変更はできません。※一旦納入された申込金・受講料は、受講前・受講途中にかかわらず、いかなる理由であっても払い戻しや次期への振り替えはできません。※天候不順によるアクシデントや講師の都合、受講者数が一定数を下回った場合等、諸事情により直前に開講日程が変更・中止となる場合がございます。その際、交通・宿泊費等の保証はできませんのでご了承ください。※弊社と発注者は互いに暴力団、及びその他の反社会的勢力に該当しないことを表明・確約します。万が一、上記に反していることが判明した場合には、直ちに無条件で本契約を解除します。※弊社と同様の教育講座を開催している企業、人材紹介業、受講生への営業・勧誘等を目的とするご受講等に関しましては、審査の上、お申し込みをお断りする場合がございます。また、お申し込みから審査までの間に、ご請求書類の発送など、決済処理の進行が行われる場合がございます。あらかじめご了承ください。※本申込書により既宣伝会議が取得した個人情報を受講手続きや各種連絡、講座運営、ダイレクトメールなどの方法で出版物や講座、イベントのご案内等をお送りするために利用します。プライバシーポリシー (<https://www.sendenkaigi.com/privacy/>) をお読みいただき、同意の上、お申し込みください。

〇お問合せ

株式会社宣伝会議 〒107-8550 東京都港区南青山3丁目11番13号
TEL: 03-3475-3030 E-mail: info-educ@sendenkaigi.com www.sendenkaigi.com/class/

